

校内研だより



令和6年7月1日(月)
研究推進部
No.9

1 第4回校内研究会(研究授業③)

(1) 日時 7月3日(水) 13:35~16:00

(2) 研究会場 音楽室

(3) 単元名 5年音楽科「いろいろな音のひびきを味わおう」

(4) 当日の進行

13:35 研究授業 音楽室 授業者 高木 智美 教諭

授業記録(全体) : (分科会)

授業記録(抽出児) : (分科会)、(分科会)

カメラ記録 : 安藤

14:40 研究協議会 ミーティングルーム 司会: 鈴木雄 協議会記録: (分科会)

- ・挨拶、講師紹介: 校長
- ・分科会提案: 小場
- ・自評: 高木
- ・協議

シャムボードを使いながら、それぞれに出た視点ごとに協議をお願いします。

良かった点、課題・改善点、疑問点、質問など

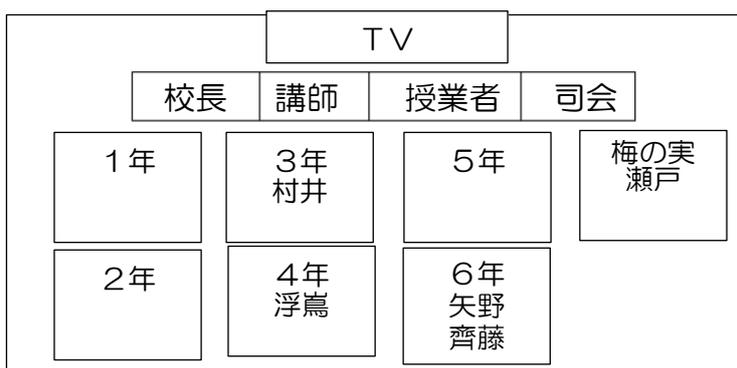
15:20 指導講評

講師 瀧島 啓司先生 (小金井市立小金井第二小学校 校長)

16:00 謝辞: 副校長

小金井市教研音楽部の先生方と一緒にグルーピングになります。積極的な関係づくりをお願いします。

(5) 会場図(ミーティングルーム)



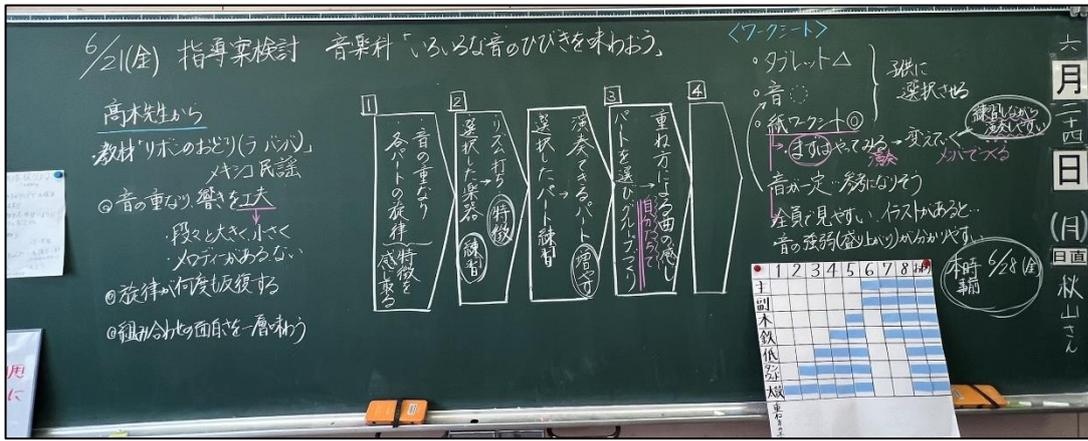
座席は、当日シャッフルします!お楽しみに!

(6) 参観の視点

- ・話し合いで子供たちが使用した教具(ツール)は適切だったか。
- ・子供たちが自分なりの根拠をもって、合奏をつくり上げているか。

☆音楽科の授業で、子供たちにどこまで委ねることができるのか、チャレンジです!また、教師の出にも注目!

(7) 事前検討会 (6月21日・金)



授業では、グループで分担した楽器を使って合奏します。子供たちは、演奏するタイミングや音の大きさなど、音の重なりを意識して演奏を試しながら、より良い合奏に向けて話し合います。今回の検討では、子供たちが話し合いで使う教具について検討しました。スクールタクト、掲示物、デジタル教科書などから、効果的な話し合いにするためには、どの教具を使うべきか、さらに有効な手だてはないか、話し合いを進めました。全体共有をすると、たくさんの先生方から、多様な意見が飛び出しました。高木先生も頼もしかったのではないのでしょうか。話し合いの中で、教具も選択できるようにするべきではないか、という意見が出されました。どこまで子供に委ねることが主体的な学びに繋がるのか、深い議論になったように思います。先生方の活発な議論が今回も素晴らしく、良い時間を過ごすことができました。



2 OJT (あゆみの所見編)

所見のポイント		6月6日20日
1	今年度の所見の時期と内容	1 学期一学習面 (2学期)、生活面 (高学年は委員会、クラブなども含む) 2 学期一総合的な学習の時間の所見のみ 3 学期一1 学期の成長、学習面、進路・外国語活動の所見、行事 (運動会・学習発表会)、生活面 ※所見は250文字程度を目安に
2	2. 保護者先生から	所見は保護者に対しての説明であり、各学級担任が児童の頑張りを評価し、課題については、以後どのように指導するかを明記する。 (「～してください。」「～してほしい。」「～してほしいです。」等の表現は避けます。) 所見の中で、児童の頑張りに関する「～頑張りました。」「～頑張りました。」という表現は、目上の者から目下の子へ向けて、児童達に対する指導は行わない、とされています。
3	3. 先生方のイデオロギ	1 所見 教育が目指す姿や方向性を示しています。(なかなか委員ではないのですが) 所見「～頑張りました。」「～頑張りました。」という表現は、目上の者から目下の子へ向けて、児童達に対する指導は行わない、とされています。
4	2 所見 具体的な指導を求めます。	「～頑張りました。」「～頑張りました。」という表現は、目上の者から目下の子へ向けて、児童達に対する指導は行わない、とされています。
5	3 所見 具体的な指導を求めます。	「～頑張りました。」「～頑張りました。」という表現は、目上の者から目下の子へ向けて、児童達に対する指導は行わない、とされています。
6	4 所見 具体的な指導を求めます。	「～頑張りました。」「～頑張りました。」という表現は、目上の者から目下の子へ向けて、児童達に対する指導は行わない、とされています。

今回の OJT では、所見の書き方や心構えについて学びました。研修に向けて、所見を提供してくださった先生方、ご協力をありがとうございました。所見は教師にとってはとても大変な作業ですが、子供の頑張りを伝える貴重な機会と考えることもできます。保護者の方や子供たちの励みになると良いですね。所見提出まであと少し！皆さん、頑張りましょう！